



ウェブ脳解析

アスリートブレイン

結果シート

あなたが今の時点で脳をどうやって使っているのかのパターンをまとめています。脳のパターンやタイプを知ることによってあなたがどこを伸ばしたら良いのかが分かり、今後はどうしたら良いのかが分かります。

小学校高学年 4・5・6年生用

診断実施日

ID

氏名

1 パーソナルブレインタイプ

2 パーソナルブレインスコア

● 合理脳(論理)

メンタライジング・ネットワーク

%

● 拡大脳(感覚)

報酬系ネットワーク

%

● 専門脳(理論)

セントラル・エグゼクティブ・ネットワーク

%

● 協調脳(情緒)

感情系ネットワーク

%

3 エモーションブレインスコア

情動アクティブ度
扁桃体

%

0 25 75 100

感情コントロール度
腹内外側前頭前野

%

0 25 75 100

4 センスブレインスコア

視覚優先脳

%

聴覚優先脳

%

皮膚感覚優先脳

%



ウェブ脳解析
AthleteBrain AB1

アスリートブレイン

説明シート

あなたが今の時点で脳をどうやって使っているのかのパターンをまとめています。脳のパターンやタイプを知ることによってあなたがどこを伸ばしたら良いのかが分かり、今後はどうしたら良いのかが分かります。

—— 小学校高学年 4・5・6年生用 ——

1 パーソナルブレインタイプ

パーソナルブレインタイプとは、最先端の神経科学（脳科学）の考え方にに基づき、あなたの脳の使い方を4つに分けています。それぞれ4つの説明は次に記載しています。4つの脳のうち、優先して使っている脳を組み合わせると15パターンになります。例えば、合理脳（論理）と専門脳（理論）を優先して使っている、合理脳（論理）と拡大脳（感覚）と協調脳（情緒）を優先して使っている、精神脳だけを優先して使っているなどです。15パターンの組み合わせのうち、あなたの該当するパターンがここに記載されます。15パターンのうち、あなたがどのパターンなのか、そしてそのパターンはどんな傾向性があるのかは、次の「解説シート」で詳細に解説しています。

2 パーソナルブレインスコア

4つの脳の使い方をそれぞれどれくらい使っているかが数字で記載されています。4つの中で一番高い数字があなたの脳の強みであり、その強みを活かすことであなたのこれからの可能性を開きます。また、一番低い数字があなたの脳の弱みです。脳の弱みを意識するとあなたは本来のチカラを発揮することができません。基本は強みを活かして、弱みをカバーするという考え方です。それぞれの脳の使い方の説明は以下の通りです。

合理脳（論理）	専門脳（理論）
合理的で協調的であり、断行性、活動性、悲観性、がありません。損害回避を優先します。	原理的で発想性があり、秩序、良心、達成追求、自己鍛錬を重んじ、固執性と行動維持に長けています。
拡大脳（感覚）	協調脳（情緒）
拡大的で外向性があり、感情、価値、アイデアを重んじます。行動促進と衝動性に長けています。	温情的で調和性があり、信頼、実直、利他性、優しさを重んじます。愛着性、感傷性、依存性があります。

AthleteBrain AB1

3

エモーションブレインスコア

あなたがどれだけ感情パワーが出力されているか、そしてそれをどれだけコントロールできているかが数字に表れています。

情動アクティブ度 扁桃体	感情コントロール度 腹内外側前頭前野
<p>怒り、恐れ、哀しみ、不安、楽しさ、喜びなどの情動感情がどれだけ出力されているかが数字になっています。</p> <p>平均は30~40です。情動アクティブ度は脳のパワーの源です。高ければ高いほどパワフルですが、高すぎると感情に振りまわされてしまいます。</p> <p>※この項目の数値で通常時の覚醒水準の概要を知ることができます。</p>	<p>情動アクティブ度をどれだけ目的や目標に向かってコントロールできているかが数字に表れます。</p> <p>情動アクティブ度よりも感情コントロール度の方が高ければ、感情をコントロールできているということになります。</p>

4

センスブレインスコア

あなたの脳が視覚を優先するのか、聴覚を優先するのか、皮膚感覚を優先するのかが数字に表れます。

視覚優先脳	聴覚優先脳	皮膚感覚優先脳
<p>スポーツにせよ、勉強にせよ、まずは見て覚えるというタイプです。視覚が優先されるので、見ないと納得できませんし、逆に見る事を優先すれば、練習や勉強は飛躍的に効果が向上します。</p>	<p>スポーツにせよ、勉強にせよ、とにかく聴いて覚える、聴いて理解するというタイプです。聴覚が優先されるので、しっかり話を聴いて理解して物事を進めることに向いています。</p> <p>見るよりも、やってみるよりもまずはしっかり話や説明を聞いてから行動すると成果につながりやすいです。</p>	<p>見るよりも、聴くよりも、感じて習得するタイプです。</p> <p>とにかくまずはやってみる。</p> <p>皮膚感覚が優先されているので、やってみて感じて理解・習得していくのが効果的なタイプです。</p>



AthleteBrain AB1



ウェブ脳解析
AthleteBrain AB1

アスリートブレイン 解説シート

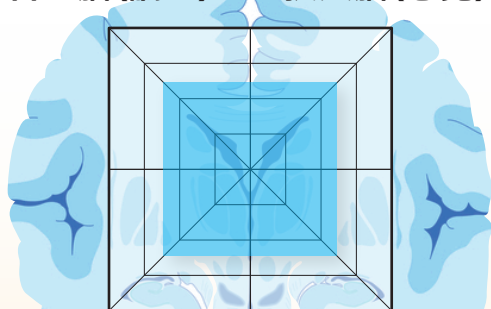
あなたの脳の使い方を15タイプに分けて、あなたの脳の使い方の特徴、あなたのキャラクター、あなたのイメージ、あなたの脳の弱みのパターン、あなたの脳の強みの活かし方、あなたの脳のタイプを更にレベルアップさせるには、などに必要なことを解説しています。

小学校高学年 4・5・6年生用

保護者の方へ

保護者の方が読んであげて、分からない所は説明してあげてください。
あくまでテスト結果から傾向性を分析したものですので全て当てはまるわけではありません。

合理脳(論理) 拡大脳(感覚)



専門脳(理論) 協調脳(情緒)

あなたのパーソナルブレインタイプ

オールブレイン均衡使用傾向 タイプ

あなたの特徴

- マルチな才能
- 環境適応能力に優れている
- どんな役割でも可能性がある



あなたのキャラクター

あなたは何をさせても人一倍器用にこなしてしまうマルチなタイプです。どんな時でもオールマイティにその力を発揮できます。その反面、何をやっても特徴がない、そこそこで突出しないというパターンになってしまう傾向性もあります。自分が何が得意かを分かっていないという面もあり、誰とでも交流

できるので、知らず知らずのうちに忙しくなってしまいます。

あなたのイメージ

1 何でもできる人

何でも器用にこなしていく様子を、周りにはさすがだなと評価しています。

2 ずば抜けた特徴がない

何でもこなしてしまうけど、これ!というずば抜けた特徴がないと見られてしまう一面もあります。

3 自分の魅力を分かっていない

周りからは、何でもできるので尊敬されていますが、自分自身は尊敬されていることに気づいていないという仲間をなごませる面があります。

オールブレイン均衡使用傾向タイプ 脳の弱みのパターン

脳を均等に使用しているがゆえ、何でもこなしてしまうので、あれもこれもと手を出してしまい、全てが中途半端になってしまう傾向性があります。

オールブレイン均衡使用傾向タイプ 脳の強みの活かし方

何でもできるからこそ、色んなことを取り入れてしまい、いっぱいいっぱいになってしまうことがあります。思いきって何かを捨ててみましょう。あれこれ欲張らずにまず自分がこれだ!と思える何かにしぼって努力を始めてみましょう。何でもできるよりも、あなたが何か大きな武器を身につけることによってさらに自信を持てます。

オールブレイン均衡使用傾向タイプの 脳を更にレベルアップさせるには

4つの脳の傾向性の中で、あなたが一番興味のある部分を伸ばしましょう。全ての傾向性を均等に使っているあなただからこそ、自分の伸ばしたい方向に伸ばすことができる可能性は十分にあります。何か1つにしぼる事であなただけの特徴が現れてきます。